

令和元年度 第一回部長・監督会議 議事録

日時：令和元年 12 月 7 日 13 時 30 分～16 時

場所：名古屋市中企業振興会館【吹上ホール】第 4 会議室

出席者：幹事長 小澤啓一郎

東海学生連盟 今西陸貴 佐原瑞季 溝口聖弥 加藤蒼基

中京大学監督 松岡大介様 名古屋工業大学監督 高須昭則様

四日市大学監督 小谷雅彦様 愛知学院大学 船津大輔様

東海学園大学監督 松本健太郎様 椋山女学園大学 池田優花様

- 議題：1. 全日理事会の報告
2. 春・夏大会について
3. リーグについて
4. 室内大会について
5. その他

議論内容

1. 全日理事会の報告

- ・全日本大学テニス選手権大会（四日市テニスセンター）

8 月 12 日 前日練習

8 月 13 日～15 日 予選

8 月 16 日 本戦前日練習

8 月 17 日～23 日 本戦

8 月 24 日～26 日 予備日

〈試合形式の変更〉

- ・男女シングルス

→予選 F のみファイナルセット 10 ポイントタイブレイク

- ・男女ダブルス

→予選・本戦ともにノーアド方式

〈当日の流れ〉

8：00～9：00 プラクティス

9：00 試合開始

（松本様）予選 1R も 10 ポイントタイブレイクにすればいいのでは。東海学連の大会はどうするのか。同じ形式にするのか。

（船津様）全日でもやるなら東海でも同じにするべきでは。

（学連）インカレの試合形式については再確認、提案。春大に関しては同じ形式を採用するかは要検討。

（高須様）インカレを仕切っているのは、東海学連ではないのか。

（学連）東海学連は全日学連に協力している形。上からの指示をとにかくこなしている状況。

(松岡様) どういう理由・経緯でこうなったのかが知りたい。ほかの学連からの意見は出ないのか。

(学連) 理由・経緯に関しては再確認する。ほかの学連からは意見は出ない。

(高須様) 決定戦の形式はどうするのか。

(学連) 変える可能性あり。インカレ出場枠数に応じて形式の変更、公認レフェリーとの話し合いを行い決定する予定。

・全日本大学対抗テニス王座決定試合（愛媛総合運動公園）

10月9日 開会式

10月10日 1R・2R

10月11日 2R

10月12日 SF

10月13日 F・3位決定戦

通年は日曜日スタート。今年は10月7日に国体、10月21日に全日本予選があるため。

(小谷様) 愛媛から東京に戻すのか。

(学連) 全日学連からは何も聞かされていない。いずれは戻る。

・全日本学生室内テニス選手権大会（江坂テニスセンター）

11月21日 前日練習

11月22日～24日 予選

11月25日～29日 本戦

・システム化（別紙参照）

(学連) 今までがアナログすぎたためこのシステムを利用することによって、各地域の選手のデータを全日が一括管理できるようになる。選手を簡単に探すことができるようになる。

2月～7月 全日からレクチャー→すべての大学に何かしらのレクチャー

(松岡様) エントリーシステムとは。

(学連) エントリーとエントリー費用の納入を管理する。これを利用することにより、誰が支払ったのかわかるようになる。登録料は全日学連が負担。

(小谷様) 全日学連が東海学連の分を負担してくれるのか。

(学連) 維持費に関しては自分たちで払って全日学連に納める。地域ごと自分たちで払うのが難しいため、全日学連にお願いする形になる。

(松岡様、船津様、高須様) システムを利用した場合大学単位で支払うのか。

(学連) 大学ごとでまとめて支払う。今までと変わらない。

2. 春・夏大会について

・インカレ出場枠の選考方法とその周知について。

→春大会エントリー時に告知

(学連) 2月の理事会でインカレ枠数を発表。その後告知、選考方法を伝える。

(船津様) 大会要項に入れてほしい。

(学連) 大会要項の冊子を作るタイミングの都合上により載せられない。インカレ情報が分
かり次第サイトの方で更新する予定。全日学連がエントリー数を口頭で説明するため、書面
でサイトに流し、誰もが見られるようにするよう促す。

・雨天においての大会中止判断について

→5～6時に判断し、受付時間を遅らせる。

(小谷様) 中止の判断について、台風はわかるが前日判断によって、当日試合ができたので
はないかと思うのが2回ほどあった。

(学連) 前日判断を行った理由として遠方からくる選手への配慮。いろんな県で行うため、
前日判断がベストであると考えたため。当日の5、6時に一度判断、午後に再開できるよう
検討中。

(船津様) できれば近場でできたらいいのでは。

(学連) 基本的に学連のいる大学のみ使用。またそれらの大学も常に使えるとも限らない。

(船津様) オムニでないのだめなのか。

(学連) オムニが多いので統一している。

(小谷様) インカレが四日市であるため、春・夏大もどうか。

(学連) 来年度はすでに会場をおさえたため、再来年度以降検討。

(松本様) 春大は岐阜、夏大は四日市(暑さ対策として)ではどうか。

(学連) 夏大四日市を一つの案として検討していく。また春・夏大会をハードコート、新進・
チャレンジ大会をオムニコートで差別化する案ももう一度討する。

(高須様) 日をまたいだコール変更はどうなったのか。

(学連) 今年度のコール変更は大会ごとのレフェリー判断で基準がまちまちだった。春大会、
夏大会で正式なコール変更のルールを採用できるよう準備していく。現在は予選シング
ルスは1回、ダブルスは1人1回ずつ、本戦は制限なしで行っている。

(松岡様) コール変更をなくしてもいいのではないか。

(学連) 学問とテニスを両立するためにもコール変更を完全になくすことはできない。

(船津様) 大会期間をわかっているエントリーしてきている。予定が分かっているならエン
トリーしないようにするべき。

(学連) エントリーさせないようにしてしまうと選手が試合する機会が減ってしまう。選手
にそういう場を可能な限り提供するのも学連の仕事。

(小谷様) コール変更された選手が2、3試合やるのはどうかと思う。

(学連) 主将主務会議までにはコール変更の定義をしっかりと決めて伝える。1年ずつ改良し
ていく。

3. リーグについて

・没収規定

(提案) シングルスオーダー交換、式次第をいつ始めるものなのかの定義がない。

→「ダブルス終了時刻の3分後にシングルスオーダー交換を行う。」と定義する。

→式次第をする学連がダブルスの試合終了時刻を叫んで発表。学連が3分、2分、1分とカウントを行う。

(小谷様) シングルのオーダーを書き換える時間はあるのか。

(学連) 考慮していなかった。検討する。

(船津様) 王座と同じルール形式にするべき。王座にはそのようなルールは存在しない。

(松岡様) 没収試合に関して、全日学連の方向性はどうなのか。そもそも必要があるのか。全日学連の考えを知りたい。もちろん何かしらのペナルティは必要。

(学連) 2年連続でもめ事が起きてしまっているため、急ぎ足で決めてしまった。全日学連に一度確認、動き次第で東海学連も動く。今回の案は保留する。

(小谷様) 学連用、相手校用と2つのオーダー用紙をなくしてほしい。

(学連) 全日学連に確認する。

・1部リーグの開催日程の見直し

(小谷様) 現在東海学連は赤字、運営は大会ごとのエントリー費でまわしている。

(案) ①男女同じ日に行う。

②A,B,Cコート全部使う必要はない。

(学連) 来年度は女子の日のみA,Bコートを使用する予定。

(船津様) 関東のように各大学で行うのはどうか。

(学連) 学連が足りない。一定の場所で行うのが今のところのベスト。

・2部以下リーグの開催日程の見直し

(松岡様) リーグの日程を決めてほしい。

(学連) チャレンジとの兼ね合いを考えて、入れ替え戦は決める予定。

(松本様) 学連が決めた日程で行うのはどうか。もし、上位校がコートをとれなかった場合、上位校は下位校にコート選択権を譲るなど、決めた日程でできるようにする。

(学連) 日程を定める方向で話し合いを学連内で行っていく。

4. 室内大会について

今後は愛知県体育館ではなく岐阜メモリアルセンターで行う予定。

5. その他

・予算について

エントリー数等を教えてほしい。

→後日報告を行う予定。

・予算案・決算書がないと対策が打てない。

→作成し、公開する。

・新進大会は令和元年度とするのか。

→する。

・ポイントの規定

→インカレインドアの本戦ベスト32は新たに作る。状況に応じて見直していく。

以上